Ⅳ－3　異性との付き合い、男女の付き合い

対象：思春期の子どもをもつ保護者20 ～ 25人程度
時間：60分程度

ねらい	思春期は発達段階で異性や性への関心が高まる時期である。子どもの性や男女の付き合い方について、家庭でどうかかわるのかについて考える。		
実施のポイント（評価など）	直面する性の問題に対し、適切な意志決定や行動選択ができる子どもを育てるために何が大切なのか、何をすべきかを考えることができる。		
事前準備	○　実施部屋の環境づくり ○　あらかじめ4 ～ 5人のグループに分かれておく ○　資料　　○　名札　　○　筆記用具		
時　間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導　入　5分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク	・自由に意見が出しやすい雰囲気づくりを行う。(自己紹介も含めて)	名札
展　開　15分	ワーク１ ・エピソードを読む。 ・グループで話し合う。 ・ワークシートに記入する。	◎思春期は発達段階で異性や性への関心が高まる時期であることを共有することをねらいとする。 ・エピソードだけでなく、自分の経験や日頃感じていることなどについても自由に意見を出せるようにする。 ・出された意見は尊重し、批判しないこと、他言しないことを確認する。	
30分	ワーク２ ・個人でアドバイスを記入して発表する。 ・グループからのアドバイスを話し合い発表する。	◎アドバイスを考えることで、子どもの性や男女の付き合い方について、家庭での関わりの重要性に気付くことをねらいとする。 ・子どもの異性との付き合い方について、現在取り組んでいることやルールがある場合は紹介する。	
	参考資料 ・資料の説明を聞く。	・参考資料を説明し、現在の中高生の性交に関する見解について知らせ、親としての関わりが必要であることを伝える。	参考資料
まとめ　10分	ふりかえり ・わが子へ伝えたいこと、そのために心がけたいことを記入する。 ・発表し合い、共有する。	・本日のワークが各家庭で子どもと異性との付き合い方について語り合うきっかけになることを伝える。 ・資料について説明し、青少年の性の現状について伝える。	資料１～３